

震災ミニ辞典

震度

地震動の強さの程度を表す尺度。日本では、人体に感じる程度による0(無感) 1(微震) 2(軽震) 3(弱震) 4(中震) 5(強震) 6(烈震) 7(激震)に分ける。元々は6までであったが、1948年の福井地震によって7が追加された。

マグニチュード

震度が土地の揺れの強弱を表すのに対し地震そのものの大小を示す。Mで表す。M値が1増すと地震のエネルギーは10~30倍になる。阪神大震災はM7.2だった。

ガル

毎秒1センチの割合の速度変化(加速度)を示す単位。震度4は25~80、震度5は80~250、震度6は250~400、震度7は400ガル以上となる。地球の重力による加速度は980ガルである。今回の地震発生当初、大阪の震度4、京都5などが発表されながら、肝心の神戸は空白となった。震度6が判明したのは、地震後3分たってからである。これは気象台の専用回線が断裂して情報が入らなかったため。その震度6も、後にガルの値から7に変更された。

活断層

過去、200万年以内に動いた形跡が見られ、また、現在も活動が続いていると思われるもの。全国に無数にあり、中部から近畿、四国にかけてとくに集中。近畿だけでも主なものは100余りもある。ここで地震が起これば、プレート型の巨大地震に比べて規模が小さくとも、直下型となって大被害をもたらす。土砂が堆積してできた平野部では、地中深くに断層があっても確認できない場合がある。

直下型地震

内陸の地震。都市直下に震源を持つ地震が起こると規模は小さくなくとも災害を与える危険性が大きい。

液状化現象

水分を多く含む砂質地盤が、地震時に液体のようになり、砂まじりの水が地表面に噴き出したり、地盤が沈下する現象。神戸・ポートアイランドの埠頭が大規模に沈下したのはその例。

地震予知連絡会

1968年の十勝沖地震の後、国土地理院に設けられた。研究者ら30人の委員から成り地震予知に関するデータを検討する。観測強化や長期予知では成果を上げつつあるが、短期予知については一般の期待にそえるものではないようだ。米国では、予知よりも防災対策にシフトしている。

激甚災害

激甚災害に指定されると、被災地の自治体が行う河川、道路などの公共土木工事や災害復旧事業への国庫補助率引き上げの財政援助、被災者への助成措置が特に手厚くなる。1月24日に阪神大震災を激甚災害に指定する政令が決定された。

ライフライン

「生命線」転じて、電気、ガス、水道、電話、道路、鉄道など日常生活を支える諸システムをいう。都市機能が高度化した現在、その断絶は広範囲にわたって混乱を引き起こす。

PTSD (心的外傷後ストレス障害)

災害に遭った後3週間ほどしたとき、心身症状を呈することがある。高齢者や子供に多くみられる。愛する人やものを失った深い悲しみや衝撃も、当初は緊張感と周囲の支援に助けられてなんとかしのいでいるが、被災の日常化に伴って危機が訪れる。それを軽くするには、自らの体験をだれにでもよいから語るとよい。また、聞く人はよい判断や忠告を避けてひたすら耳を傾けるのがよいとされている。

で高速道路が落ちたぞ」「みんな無事やろか」。同僚と歩いて転落現場へ急ぐ。途中、即死状態のトラック運転手が車外に投げ出されていた。「手を合わそうや」。足が重くなった。

だれもが倒れるはずがない、と考えていた高速道路が崩れ落ちた。絶対にこわれないことを前提に、災害時にはこれをフル活用することによって現地へヒトをモノを運べると考えていた警察、消防、自治体の対策マニュアルが根底から狂っ

たのだ。いわば切れた命綱の上に無残に人が投げ出されている。横倒しになったトラックは物流のけい動脈の遮断をも象徴していた。

神戸線下の国道四三号線でトレーラーけん引車を運転、六甲アイランドに向かう山本朗(三)。東灘区住吉浜町の六甲大橋に入る直前、ハンドルに異常な重みを受けた。とつさにブレーキを踏む。五分前まで無線交信していたトラック仲間

「今の何やった」。応答はなかった。橋には二十センチの段差ができていた。「行けるかな」。直径一・二メートルのタイヤをそろりと動かす。ガクンと衝撃が車体に伝わり、体が跳ねる。時速十キロで大橋を渡る。六甲ライナー(複線)は橋げたがずり落ち、人工島は泥水に覆われていた。

車庫で長さ六メートルの台車をつなぎ、重さ十トンのコンテナを積んで再び橋へ。段差で台車が大きく傾く。やつと

のことで四三号線へ。家屋倒壊、高速道路の落下が次々と目に入る。「仕事どころとちゃう」。

宝塚市の自宅には妻法子(三)と中学一年の梨絵(二)、小学五年の絵美奈(二)、同二年の惇也(六)がいる。一刻も早く帰ろう。コンテナをそこに投げ出しても良かった。だが、客のコンテナを捨てるわけにはいかない。山本は家とは逆方向、段差の広がった危険な橋に向かって、もう一度ハンドルを切った。